



迎春

(呉港)

本年もよろしくお祝い申し上げます

断酒

みどりの友

発行所 呉みどり断酒会
事務局
呉市押込 5-12-25
渡部 憲方
郵便番号 737-0915
電話 33-5571
発行人 渡部 憲
(編集代表)
印刷 松広印刷株式会社



新年あけまして
おめでと〜ございませす

会長 渡部 憲

元旦の朝だった。家族団欒で、お雑煮でも食べているのか、団地の通りに人影はない。私は飲み干した缶ビールの空缶を、そっと音がしない様に門柱の上に置いて、何くわぬ顔をして立ち去った。

(あ、俺はなんて情けない男だ……。どうしてこの迎え酒を止めることができないんだ……)と、情なくて、泣きたい気持ちだったのを今も忘れない。

断酒会にめぐり会ったのが36才。不安だった……とにかく毎晩意識不明になるまで飲むのを止めなかった自分が、全くのシラフで眠れる訳がなかった。

寝返りを打ちながら、ついつい先々の事を考えてしまう。小5の娘が、やがて花嫁に行く日が来る。

「お父さん、長い間お世話に……」
と言ってくれたとしても、そんな時だって飲めないのか……

また、このまま酒を断ち続けて、54才の自衛隊定年を迎えられたとして、「お父さん、よく頑張ったね。長い間御苦労さま」なんて、妻が言ってくれたりしたら……
そんな時だって盃一杯の酒も口にする事ができないのかと。

辛い辛い断酒のスタートだった。
「思いを変えろ」しかなかった。
(渡部憲は、最低の所まで落ちたんだ。進級、昇級なんて欲な事は考えまい。とにかく、今日一日の事を考えて生きていこう……)と。

酒で完全に孤立してしまっていた私だったが、断酒会の中で、何でも話せる良き友が出来た。酒なしで生きていこうと決心した私にとっては、何よりも大事な「宝物」である。

今、断酒をスタートして苦しんでいる「友」に、辛かったあの頃のお話をしてあげたいなァ。



会場「さいたまスーパーアリーナ」前で

「お父さん、独りじゃないのよ。私達がそばにいるじゃないの。」いきなり、娘さんからのメッセージの朗読で幕が開いた第39回全国(さいたま)大会。静まり返った場内、開会早々から目頭を押さえる光景があちこちに。



「仲見世へ行ってみようか」などと宿でくつろぐ

「○○さん、どっちが大佛か解らんじゃない」とひやかす者。「もおう、ひどい事言うねエ!!」などと、晩秋の鎌倉の旅を心ゆくまで楽しんだ。浅草寺近くの「助六の宿」に着いた私達は、浅草寺に参拝したり、仲見世通りを行ったり来たりして江戸情緒豊かな浅草の夕暮れの風情を満喫することができた。檜風呂につかりながら、旅の疲れをとり、ご主人の「小はなし」を聞きながらの夕食の宴。

感動の第39回全国(さいたま)大会

当会からは27名が参加した。前日(26日)は、年に一度の楽しいの観光巡りを行なった。羽田飛行場に降りたって間なしに雨が上がり、早速、観光バスで鶴岡八幡宮に参拝。伝説の大イチヨウ(樹齢六百年)に感嘆の声。鎌倉大佛での自由行動は、記念に大佛を背景に写真を撮る姿が目立った。あまりの大きさにカメラマン(?)も四苦八苦している様子だった。

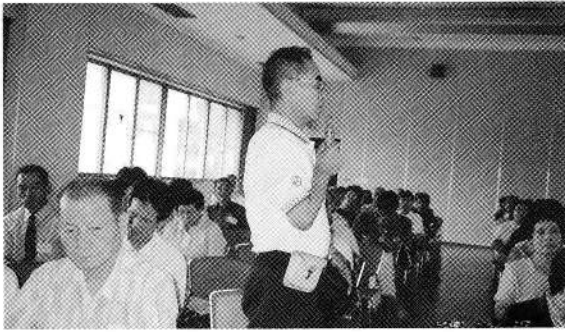


話もはずむ夕食の宴

布団を並べて、夜が更けるまで語り合った浅草の夜。寝食を共にする事の大切さ、喜びをしみじみと感じた。巨大な会場(スーパーアリーナ)のあちこちで再会を喜び合う光景。(ああ、やっぱり来てよかったなァ...)と思った。来年の「愛知大会」も、必ず参加したい!! 両手いっぱいのお土産を持って羽田の搭乗口にむかうみんなの背中が、そう物語っているように見えた。



助六の宿「真千代」の玄関にて



研修会場（体験を語る藤川さん）

第32回広島県連研修会

江田島青年の家で開催するようになって10年目。他の様々の団体も研修で入所している。「こんにちわ」「コンニチワ」と気持のよい挨拶がかわされる。

今年（フィリッピン）からは海外（フィリッピン）からの研修生も十数名参加して、たまたましい日本語で自己紹介（朝の集い）があり、研修目的は各々

違っているも、みんなが真剣に研修を行なった3日間であった。

「自分達の研修会だ。自分達の手で」と、今回から個別断酒会の主管方式から県連が一体となって準備運営を試みた第3回目であった。

当会からは30名が参加。各部署とも秋の夜長を平素話せない話に深夜まで花を咲かせたようだ。

全部で約二百名の参加であり、真剣な体験談の中から改めて、「酒を止めなければ何も出来ない」事を勉強させてもらった。随所に大先輩の体験談があり、迫力に圧倒された。

入会間なしの初参加の方の、足をガクガク震わせながらの体験発表に感動させられた。

今年も呉みどりヶ丘病院院長先生に講演を頂き、一緒に記念写真。古鷹山と瀬戸内の海を眺めながらの秋色に深まった青年の家での3日間、私達の会が、広島県連が一層親睦を深める事が出来た。



長尾澄雄院長先生

呉みどりヶ丘病院創立32周年記念

昭和45年、全国で初めての「アルコール専門病院」として開業された呉みどりヶ丘病院（長尾澄雄院長）。

全国各地に我々の仲間を送り出していただいで32年。去る10月20日、創立32周年記念特別例会が催された。

当日は、県内外から多数の当院の卒業生（？）が集い、開会を待つ間、あちこちで談笑する光景が

見られ、まるで同窓会（？）のムードが漂っていた。

4名の体験発表が行なわれ、当会から松原宏治さんの赤々々な体験に感動させられた。

現在、呉みどりヶ丘病院は、女子病棟も含めてベッド数三三二床。数年前に開設された「デイナイト

ケアセンター」には、約七十名の入居者が、社会復帰をめざし、退院後のケアを受けている。

記念講演での院長先生のお話にもあったが、近々、仕事をしながらの「ナイトケア」も新設の運びと云々。

私達の育ての親でもある長尾澄雄院長先生はじめ、職員の皆様の御健勝を祈りたい。

断酒会の各地での集いの際に、「呉みどりヶ丘病院」に入院した仲間にも数多く出逢う。なぜか嬉しくなり、親しみを感ずってしまうのは、やっぱり「みどりっ子」のせいなのか。

呉みどりヶ丘病院 創立32周年記念特別例会

体験発表



松原宏治

私、呉みどり断酒会の松原宏治です。

お酒との出会いは15才の時です。何も知らないまま、一気飲み、最初から二日酔とブラックアウト。祖父には大変叱られました。

今思えば成るべくして成った依存症だと思います。世間一般の常識を身に付ける前に酒の酔い心地を覚え、まさかその酒が人生を狂わし、周囲の人達迄も巻き込んで、心配と苦しみを味合わせる様に成るとは知るよしも有りませんでした。

両親は食う為に一生懸命働いて、私の給料は全部飲み代。親は何も言いません。それを良い事に毎日毎日酒を求め、午前様の生活です。自分勝手に気ままな生き方をし、17才頃より、自分は心の奥底に21

22才で死をむかえると勝手に思い込み、相手を思いやれず、人様の大切な娘さんを道連れに心中未遂。別れ、淋しくて、もう一度死を考えました。果たせず酒に酔い狂いました。

24才の暮に一寸したはずみで人様を刺し、私の誕生日に父に連れられて自首。前日、父が「これが最後の酒」と言って注いでくれま



した。父の思いも解らず、当人は酒の上での事と軽く考えていたと思います。拘留所に入っても父に「金送れ」と、銀シャリが喰いたいばかりに平気でそんな手紙を出していました。麦飯は最初食べません。

裁判所で前手錠、腰縄の姿で傍聴席を見た時、肩を落し、顔を下げた父が一人ぼつんと座っていました。でも自分の事しか頭になく、八ヶ月求刑で足が震えましたが、執行猶予二年を貰いすぐ釈放。最初に言った言葉は「煙草一本くれ」それ程迄に人間性を失っていた私。酒を止める気はなかつたです。

そんな私を見兼ねて、嫁でも貰えばと父が考え、結婚しますが、費用は父が全部出してくれました。酒を飲む口実に嫁の悪い所を捜し、最後は飲み代欲しさに彼女が持つて来た晴着まで質屋に入れて飲む、結局三年半で離婚。父が全部後始末をし、黙って見守ってくれました。

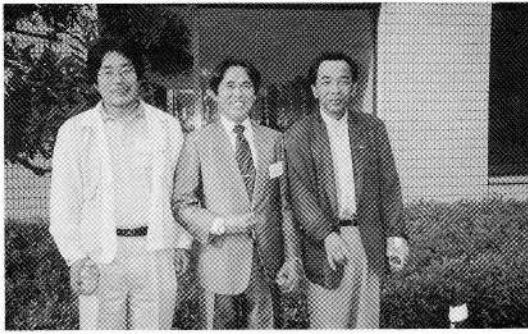
いつかは立直ってくれるのではないのかとはかない希望を抱いて。それでも私は酒、そんな中、一緒の職場で働いていた女性と付き

合い、彼女の言葉で酒のない生活、養子に行き、すぐ子宝にも恵まれ少しの間は楽しい日々も。親父に孫の顔を見せてやる事も出来、連れて帰ると親父は嬉しそうな顔して抱いてくれました。

でも、一杯の酒に手を出すと連続飲酒の始まり、実家で酒を切つて貰い、迎えに来てくれた時両親は相手の母に頭を下げ情けない思いをしたとおもい、二度と酒に手を出さないと泣きながら誓いますが、同じ事の繰り返しです。

子供も小学校に入り、覚えてたの字で「パパお酒止めて」と手紙を書いて机の上に置いて有った時この娘の為に酒には絶対手を出さないと決意しますが、一杯の酒で駄目。妻の最後の一言は「貴方と過ごした年月は一つも良い事はありませんでした」と。子供と別れた淋しさ、孤独感に耐えられず風呂の中で「通うりゃんせ」を唄いながら泣きました。

家にも居る事が出来ずに福山に住み、福山駅で毎日酒を盗んでは飲み続け、金も酒も無く、身心ボロボロになり、実家に着払い。父



会友と…。

は家に上げてくれません。「どこへ行って何をしてもいい、帰って来るな」と強い拒絶。父の心境はあっさり死んでくれた方が良かった。そこまで私の酒は父の気持を追い込んでいました。

昭和60年12月呉みどりヶ丘病院に入院。院長先生との出会いを頂き、初めて断酒会を知りました。でも自分はアル中ではないと、認める事さえせず、酒を止める気もありませんでした。8ヶ月で退院し、父の「お前の事信用しろ」との一言しか返ってこず、再入院す

る迄聞いた言葉はそれだけでした。毎日が針のムシロの上に座っている様な毎日、逃げるように12月に再入院。この32周年の半分は病院のお世話になって居ます。この間退院出来るのは親父が生きているから、早く死んでしまえと何度思ったか知れませんが。普通の頭で考えれば変ですよ。

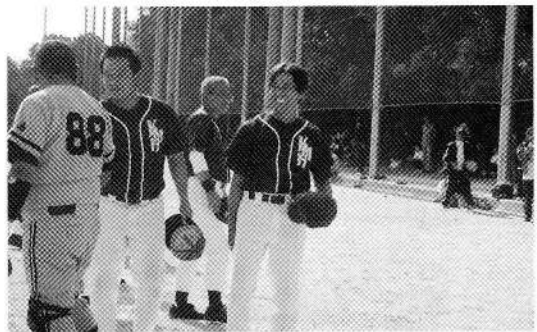
ある時脱院して気付いたら福岡に。金が無くなるとバス代が足りないと通りがかりの人全部に「二百円貸して下さい」と言い酒代を集めて生活。それも出来なくなり、家に電話すると、父が出て「今お前に金送ると糸の切れた風で、どこに行くか分からん、死ぬ」と。でも、父が病院に帰る手続きをしてくれました。幻聴、幻覚の中でやっと病院に。

その時、院長先生、私一目見るなり、「早く風呂に入れてやれ」と優しい言葉。すぐ風呂に入ったから水風呂でした。保護室で一週間幻覚幻聴が取れず、今度飲んだら頭がいかれると思ひ、私にとつて2年8ヶ月酒には手が出ませんでした。でもほんのちよつとの事で

すぐ酒に手が出て、これが最後の酒になりました。運命の7月31日保護室から直にケアーセンターに。院長先生が「今のままでどうにもならんじやろう、断酒会に入つてやってみる」の一言、その言葉が私にとつて大きな転換期に成りました。

すぐにみどり断酒会に入会し、新会員の集いで田中相談役が私の手を取つて満面笑顔で迎えて頂き、又会の先輩の皆様も暖かく受け入れて頂きました。一年経つた頃から各地の例会に参加させて頂きました。自分の過去の生き様が見つめられる様に成つた時、己の身勝手さ、醜くさ、人の道から外れた生き方がどれ程罪深いものだったか少しづつ理解出来ました。

子供の事一つ取つても、別れた娘が再婚相手の子と喧嘩した時、「真紀だつてパパが居るもん」と言つたと聞くと、私の取つた行動は只可哀想とすぐ酒。そこが違うんです。娘の胸の内を解つてやれませんでした。親父が酒を止めてる私に、「長い間あの様な所に入れたままにしてすまなかつた」と



格恰はいいが…？

言つてくれます。今は父と冗談も言え、座る場所も出来ました。

院内では先生が長い間温かい目で見守つて下さり、会に入会すると先輩の皆様が引っぱつたり押し下さつたお蔭です。私が今まで飲んで失つた大切なものそれ以上ものを頂いています。参加させて頂いたふたば様、芸南様、福山の皆様、ありがとうございます。

これからも例会出席を大切に、自分を見つめ、反省し、人間らしく生きる道を歩き続けます。本日は有難うございました。

第36回 酒なし忘年感謝会

「不況」の二文字が消えなかった平成14年も暮れようとしている12月11日、恒例の酒なし忘年感謝会が、昨年好評だったシテイプラザカンコーに於いて、長尾澄雄院長先生をはじめ、来賓、朋友のご臨席を得て盛大に行なわれた。

少々音低がズレていたって、伴奏を無視して歌ったっていいじゃないですか。歌って笑って、楽しいひと時を、仲間と過ごす事が出来ただけで満足な夜でした。



寄付者御芳名

（8月度）
感謝箱（8月分） 九、三八九円

（9月度）
呉清明園様
感謝箱（9月分） 五、〇〇〇円

（10月度）
感謝箱（10月分） 一〇、一八七円

呉 石田真一様 一〇、〇〇〇円
呉 匿名名様 一〇、一二九円

感謝箱（10月分） 一二、九五二円

断酒継続 おめでとう

- ・一年 吉尾弘美 9月12日
- ・二年 竹内 愿 9月23日
- ・三年 水本秀伸 10月25日

新入会員紹介

☆呉市西片山町八一三三

神崎 一郎

行事予定

◎第26回東予ワンナイトセミナー
1月18、19日（香園寺）

◎呉みどり断酒会

創立36周年記念例会

2月8日（呉みどりヶ丘病院）

◎第38回中国断酒ブロック

（島根）大会

併せ島根県断酒新生会

創立35周年記念大会

4月13日（三刀屋町文化体育館）

◎第38回四国断酒ブロック

（徳島）大会

4月27日（鳴門市文化会館）

10月例会動員数

| 行 事 名 | 回数 | 正会員 | 家族会員 | 賛助会員 | 他会員 | 77-ビター | 院内会員 | 合 計 |
|-----------------|----|-----|------|------|-----|--------|------|-------|
| 土 曜 例 会 | 4 | 132 | 56 | 13 | 42 | 252 | 294 | 789 |
| 水 曜 例 会 | 5 | 169 | 93 | | | | | 262 |
| 新会員の集い | 1 | 12 | 6 | | | | | 18 |
| ブロック例会 | 1 | 30 | 16 | | | | | 46 |
| 家族の集い | 1 | | 19 | | | | | 19 |
| 病院・家族の集い | 1 | | 14 | | | | | 14 |
| 病院懇談会 | 1 | 5 | | | | | | 5 |
| 特別院内断酒例会 | 1 | 26 | 13 | | | | | 39 |
| 山口断酒連合会第22回会合開始 | 1 | 7 | 1 | | | | | 8 |
| 第39回全国（さいたま）大会 | 1 | 16 | 11 | | | | | 27 |
| 県連理事会研修 | 1 | 6 | | | | | | 6 |
| 役員会 | 1 | 6 | 1 | | | | | 7 |
| 合 計 | 19 | 409 | 230 | 13 | 42 | 252 | 294 | 1,240 |

9月例会動員数

| 行 事 名 | 回数 | 正会員 | 家族会員 | 賛助会員 | 他会員 | 77-ビター | 院内会員 | 合 計 |
|-----------|----|-----|------|------|-----|--------|------|-------|
| 土 曜 例 会 | 4 | 123 | 58 | 12 | 47 | 223 | 263 | 726 |
| 水 曜 例 会 | 4 | 135 | 59 | | | | | 194 |
| 新会員の集い | 1 | 15 | 6 | | | | | 21 |
| ブロック例会 | 1 | 28 | 14 | | | | | 42 |
| 家族の集い | 1 | | 19 | | | | | 19 |
| 病院・家族の集い | 1 | | 14 | | | | | 14 |
| 病院懇談会 | 1 | 6 | | | | | | 6 |
| 特別院内断酒例会 | 1 | 19 | 10 | | | | | 29 |
| 第32回県連研修会 | 1 | 21 | 9 | | | | | 30 |
| 役員会 | 1 | 6 | 1 | | | | | 7 |
| 合 計 | 16 | 353 | 190 | 12 | 47 | 223 | 263 | 1,088 |